

滞留水の貯蔵状況(5月21日時点)

滞留水の貯蔵及び処理の状況概略

- ①建屋内滞留水水位及び貯蔵量
 - ・建屋内滞留水水位は運転上の制限を満足
 - ・処理装置(第二セシウム吸着装置)は運転中
- ②1~4号機タンク貯蔵量
 - ・淡水化装置による処理により、淡水及び濃縮塩水の貯蔵量は変動あり
 - ・蒸発濃縮装置は全台停止中
- ③5, 6号機滞留水貯蔵量
 - ・構内散水によりFエリアタンク貯蔵量は変動あり
- ④廃棄物発生量
 - ・除染装置停止中のため、廃スラッジ貯蔵量は変動なし

①建屋内滞留水水位及び貯蔵量

施設	貯蔵量	T/B建屋内水位
1号機	約13,400m ³	OP.2,438
2号機	約17,900m ³	OP.2,919
3号機	約19,200m ³	OP.2,903
4号機	約16,600m ³	OP.2,878
合計	約67,100m ³	

貯蔵施設	貯蔵量	水位
プロセス主建屋	約16,190m ³	OP.4,575
高温焼却炉建屋	約3,560m ³	OP.2,142
合計	約19,750m ³	

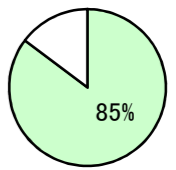
(合計):+680[m³/4週] (合計):-440[m³/週]

	貯蔵量	貯蔵容量
廃液供給タンク	723m ³	1,200m ³
SPT(B)	857m ³	3,100m ³

(合計):+95[m³/4週] (合計):+132[m³/週]

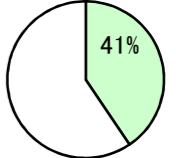
④廃棄物発生量

廃スラッジ



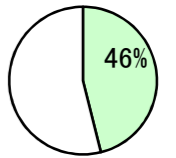
保管量:597/700[m³]*3

使用済ベッセル



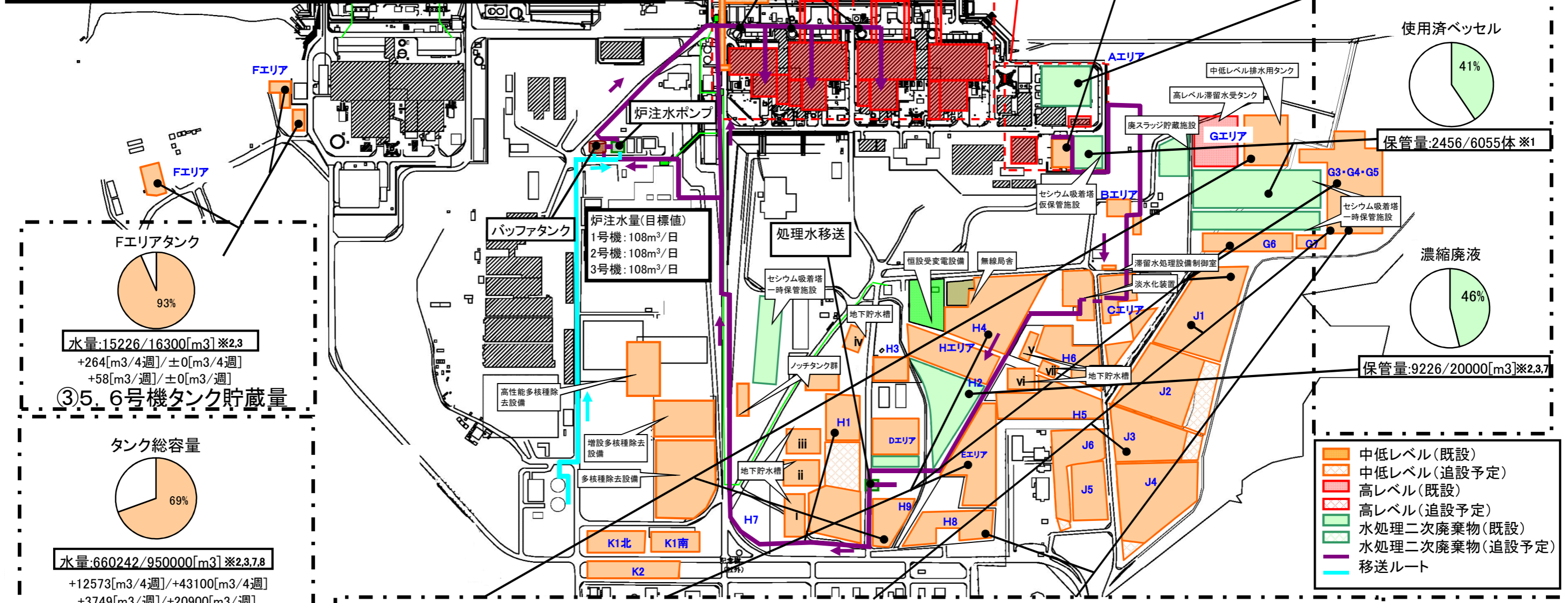
保管量:2456/6055体*1

濃縮廃液



保管量:9226/20000[m³]*2.3,7

- 中低レベル(既設)
- 中低レベル(追設予定)
- 高レベル(既設)
- 高レベル(追設予定)
- 水処理二次廃棄物(既設)
- 水処理二次廃棄物(追設予定)
- 移送ルート



Fエリアタンク

水量:15226/16300[m³]*2,3
+264[m³/4週]/±0[m³/4週]
+58[m³/週]/±0[m³/週]

③5, 6号機タンク貯蔵量

タンク総容量

水量:660242/950000[m³]*2,3,7,8
+12573[m³/4週]/+43100[m³/4週]
+3749[m³/週]/+20900[m³/週]

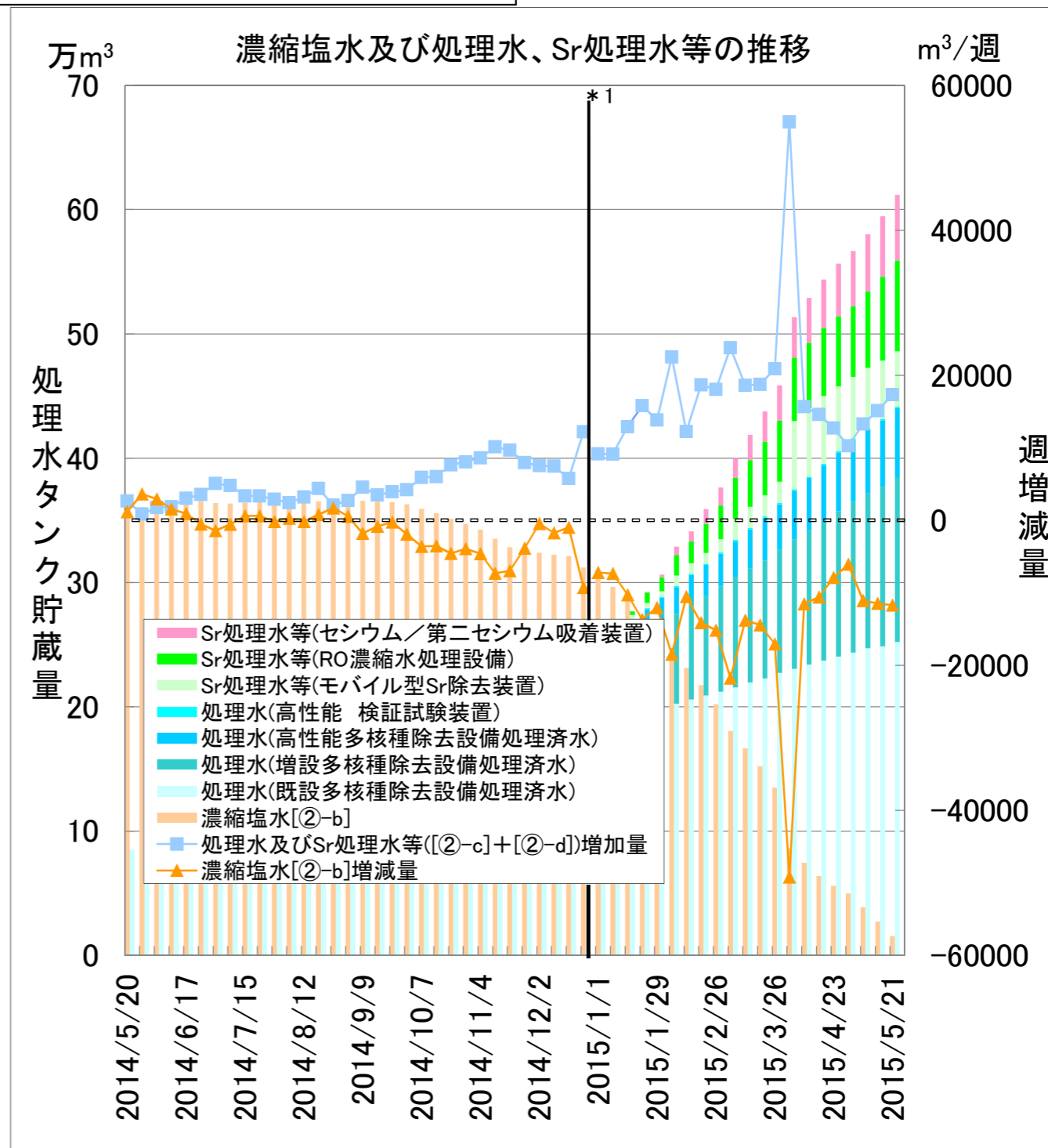
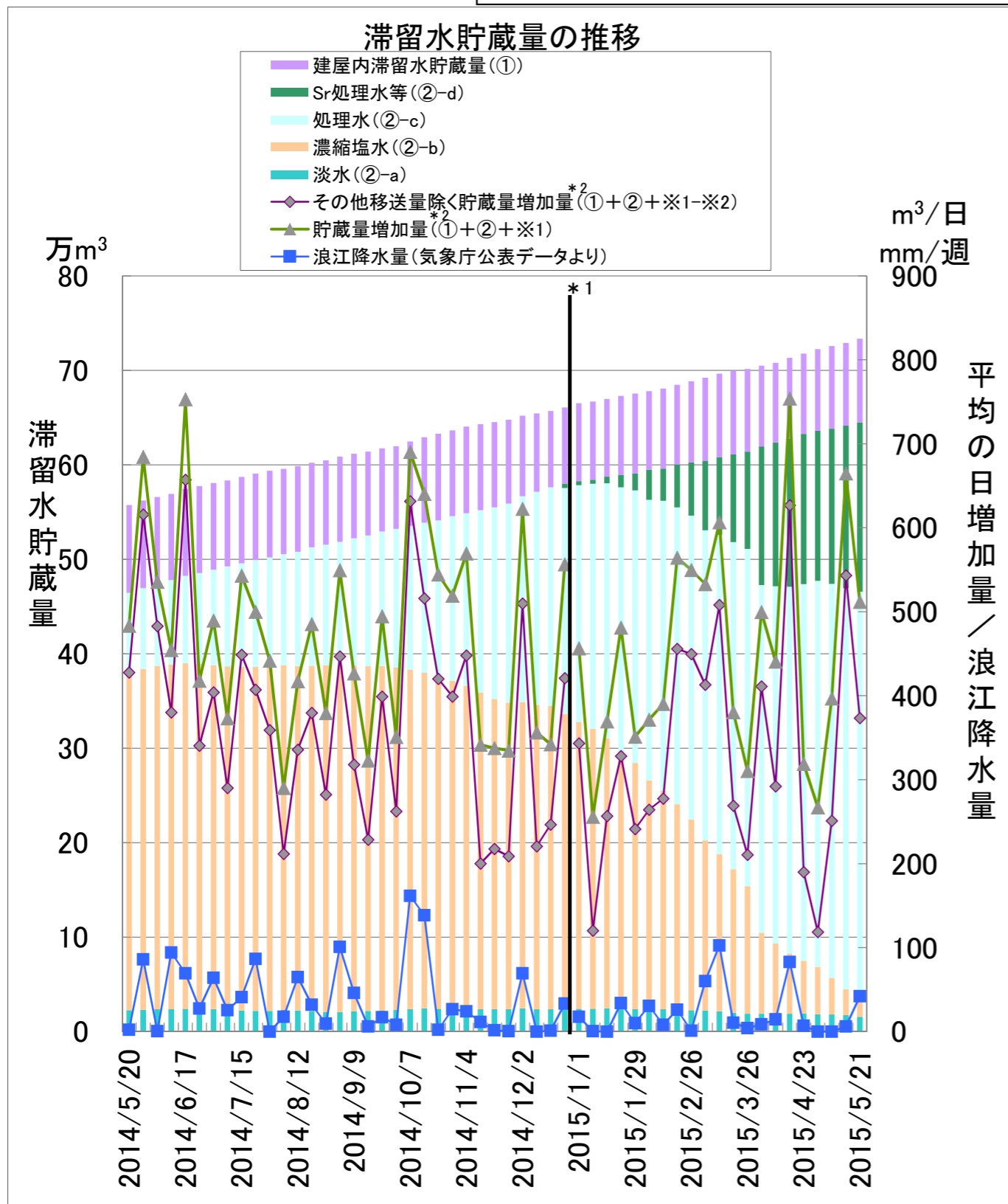
- タンク貯蔵量合計(②+③)
- ※1 第二セシウム吸着装置使用済ベッセル及び多核種除去設備の保管容器、処理カラム及びモバイル式処理装置使用済ベッセルを含む
 - ※2 装置稼動中につき水位が安定しないため参考扱い
 - ※3 貯蔵容量は運用上の上限を示す(タンクの貯蔵容量は10の位を切り捨てて表記)
 - ※4 多核種除去設備等(ホット試験中)の処理済水を貯蔵するが、タンクの運用状況に応じて淡水や濃縮塩水を貯蔵
 - ※5 ウェルポイント(約520m³/週)、2号機増設廃棄物地下貯蔵設備建屋から2号機廃棄物処理建屋(約160m³/週)の移送量約680m³/週を含む
 - ※6 放射性物質濃度が高い多核種除去設備B系出口水を含む
 - ※7 貯蔵量に下記の「タンク底部～水位計0%の水量(DS)」を含んでいない。淡水約1,000m³、濃縮塩水約1,000m³、処理水約1,000m³、Sr処理水等約3,000m³、濃縮廃液約100m³。
 - ※8 水抜き終了(残水処理中)のタンク群の「タンク底部～水位計0%の水量(DS)」を含んでいない。濃縮塩水約2,800m³。

②-a 淡水	②-b 濃縮塩水	②-c 処理水 (多核種除去設備等処理済水)	②-d Sr処理水等	1~4号機タンク総容量
<p>水量:15686/27500[m³]*2,3,7</p> <p>-3385[m³/4週]/±0[m³/4週] -1945[m³/週]/±0[m³/週]</p>	<p>水量:15572/223400[m³]*2,3,7,8</p> <p>-40329[m³/4週]/-20100[m³/4週] -11707[m³/週]/±0[m³/週]</p>	<p>水量:434515/475100[m³]*2,3,4,6,7</p> <p>+35815[m³/4週]/+35000[m³/4週] +9895[m³/週]/+12900[m³/週]</p>	<p>水量:179243/207700[m³]*2,3,7</p> <p>+20208[m³/4週]/+28200[m³/4週] +7448[m³/週]/+8000[m³/週]</p>	<p>水量:約733446[m³]</p> <p>+15784[m³/4週]*5,7,8 +4383[m³/週]</p>

②1~4号機タンク貯蔵量

タンク堰内水の一時的貯留量(*5月26日時点の値を記載)
・ノッチタンク群 約300(+100[m³])/約4900[m³]

滞留水の貯蔵状況の推移



①: 建屋内滞留水貯蔵量(1~4号機、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋、廃液供給タンク、SPT(B))

②: 1~4号機タンク貯蔵量([②-a淡水]+[②-b濃縮塩水]+[②-c処理水]+[②-dSr処理水等])

※1: タンク底部から水位計0%までの水量(DS)

※2: ウェルポイント汲み上げ量、海水配管トレンチへの水投入量、多核種除去設備薬液注入量の合計

*1: 2015/1/1より集計日を変更(火曜日→木曜日)

*2: 2015/4/23より集計方法を変更(貯蔵量増加量(①+②)→(①+②+※1)、その他移送量除く貯蔵量増加量(①+②-※2)→(①+②+※1-※2))

処理水	累積処理水	期間処理水		定格処理量
	[m³]	[m³/週]	[m³/日] ^{注1)}	[m³/日]
既設多核種除去設備 ^{注2)}	252,187	3,600	514	750以上
増設多核種除去設備	132,459	3,954	565	750以上
高性能多核種除去設備	55,831	2,341	334	500以上
高性能 検証試験装置	1,128	0	0	50
Sr処理水等	累積Sr処理水等	期間処理水		定格処理量
	[m³]	[m³/週]	[m³/日] ^{注1)}	[m³/日]
RO濃縮水処理設備	72,938	5,491	784	500~900
セシウム吸着装置	52,819	4,248	607	600
第二セシウム吸着装置				1200
モバイル型Sr除去装置	Sr処理水等			
	[m³]			
	44,457			

注1) 週間の平均値

注2) 既設多核種除去設備処理水の一部は、残水があるRO濃縮塩水タンクに移送し、Sr処理水等として貯蔵